

# EU Indicators

発表日:2018年9月10日(月)

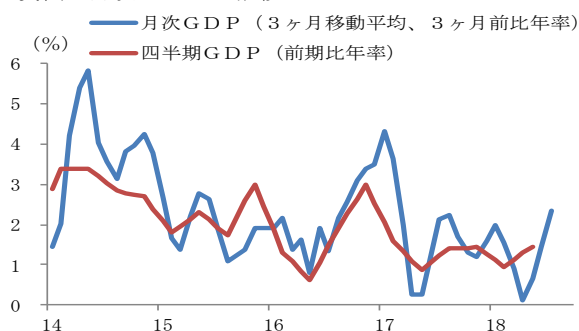
## 欧州経済指標コメント:7月英国月次GDP

～無秩序離脱の不安をよそに～

第一生命経済研究所 調査研究本部 経済調査部  
 首席エコノミスト 田中 理 (TEL:03-5221-4527)

- 10日に発表された7月の英国の月次GDPは前月比+0.3%と4ヶ月連続で拡大、3ヶ月前対比の年率伸び率は+2.4%と2017年2月以来の高い伸びを記録した。8・9月の月次GDPが前月比平均で▲0.5%以上落ち込まない限り、7-9月期の実質GDPはプラス成長を確保可能。8・9月が横這い推移でも、7-9月期は前期比+0.5%と4-6月期の同+0.4%を上回る計算となる。
- 7月の業種別内訳は、建設業（前月比+0.5%）とサービス部門（同+0.3%）が牽引、製造部門（同+0.1%）の伸び率が鈍化、農林水産漁業（同▲0.1%）が2ヶ月連続で低下した。サービス部門では、情報通信、教育、行政サービスが弱かったものの、宿泊・外食（同+1.6%）、専門サービス（同+1.5%）、事務サービス（同+0.9%）が牽引した。製造部門では、鉱業が大きく反発したものの、製造業（▲0.2%）と水道・下水（同▲0.6%）の落ち込みが足を引っ張った。
- サービス業の反発は良好な天候とサッカーW杯に起因。振れが大きい建設業とともに、目先は反動減で下振れする可能性が高い。ただ、8月のPMIがサービス業を中心に底堅く、離脱協議に対する不透明感の高まりや新興国の動揺にもかかわらず、英国景気はBOEの想定をやや上回って推移している。13日に結果が判明するBOEの金融政策委員会では、金利の据え置き決定が確実視されるが、労働需給逼迫と賃金上昇が続くようだ追加利上げ観測も浮上しかねない。

■英国：月次GDPの推移



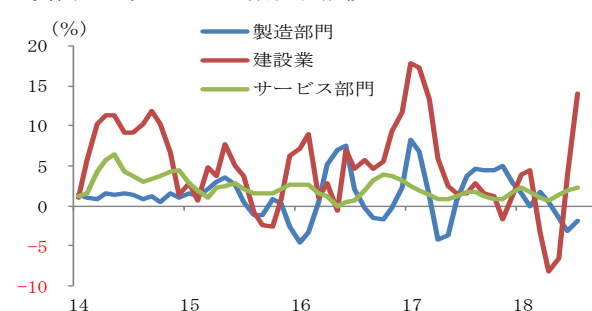
出所：英統計局

■英国月次GDP（季節調整済み）

	2017				2018				2018							
	3Q	4Q	1Q	2Q	10月	11月	12月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	
四半期GDP	0.4	0.4	0.2	0.4	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	
月次GDP	0.4	0.4	0.2	0.4	0.1	0.3	0.1	0.2	-0.2	0.0	0.2	0.3	0.1	0.3	-	
農林水産漁業	0.8	-0.3	-1.5	-0.0	-0.1	-0.3	-0.6	-0.6	-0.5	-0.2	0.2	0.2	-0.2	-0.1	-	
製造部門	1.1	0.7	0.4	-0.8	0.3	0.3	-1.0	0.9	0.3	-0.3	-0.7	-0.2	0.4	0.1	-	
建設業	0.4	0.3	-0.8	0.9	-0.9	1.3	1.7	-1.5	-0.4	-1.8	-0.1	2.9	1.4	0.5	-	
サービス部門	0.3	0.4	0.3	0.5	0.1	0.3	0.2	0.2	-0.3	0.2	0.4	0.2	0.0	0.3	-	
PMI 総合	54.1	55.2	53.4	54.3	55.8	54.9	54.8	53.4	54.5	52.4	53.2	54.5	55.2	53.5	54.2	
製造業	56.1	56.8	54.9	54.1	56.2	58.2	56.0	55.1	54.9	54.8	53.9	54.2	54.1	53.8	52.8	
建設業	50.4	52.0	49.5	52.7	50.8	53.1	52.2	50.2	51.4	47.0	52.5	52.5	53.1	55.8	52.9	
サービス業	53.5	54.5	53.1	54.0	55.6	53.8	54.2	53.0	54.5	51.7	52.8	54.0	55.1	53.5	54.3	

出所：英統計局、IHS Markit

■英国：月次GDPの業種別推移



注：3ヶ月移動平均、3ヶ月前比年率

出所：英統計局

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所調査研究本部経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命保険ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。